

高次脳機能障害者の

# 運転再開 の基準と指針に

シーディス

## 簡易自動車運転シミュレーター (SiDS)

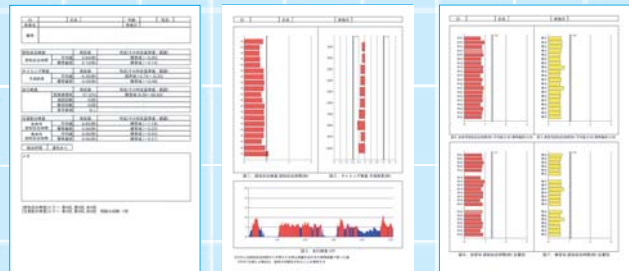
病気や交通事故などの要因により、高次脳機能障害を発生した運転免許保有者の運転再開可否の診断を支援するための検査システムです。  
この検査システムは、認知反応検査、タイミング検査、走行検査、注意配分検査で構成されています。

¥500,000+消費税

### 《検査器本体》



### 《結果：安定例》



### 《結果：不安定例》



### 【構成】

検査用ディスプレイ、ノートPC、ハンドル、ペダル、ライセンスキー

### 【オプション】

プリンター 定価 ¥20,000+消費税

### 《検査内容 SiDSの個々の検査時間と画面例》

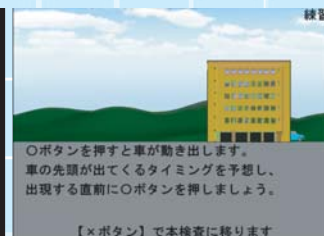
#### 認知反応検査



検査時間：約8分

8分間という長時間での認知反応時間の平均値と、ばらつきを調べる

#### タイミング検査



検査時間：約4分

画面の自動車の速度から一定距離を走行する時間を予測する能力を調べる

#### 走行検査



検査時間：約8分

速度と車間距離から危険車間率、信号無視や衝突、車線逸脱などを調べる

#### 注意配分検査



検査時間：約11分

視野のどの部分で見落としや認知反応の遅れが起こるかを調べる

- ・ 検査時間は約30分
- ・ 検査結果は、印刷用PDFファイルと解析用Excelファイルで出力
- ・ 4つの検査の内、任意の検査だけを選択して実施することが可能

# 簡易自動車運転シミュレーター（SiDS）の開発背景

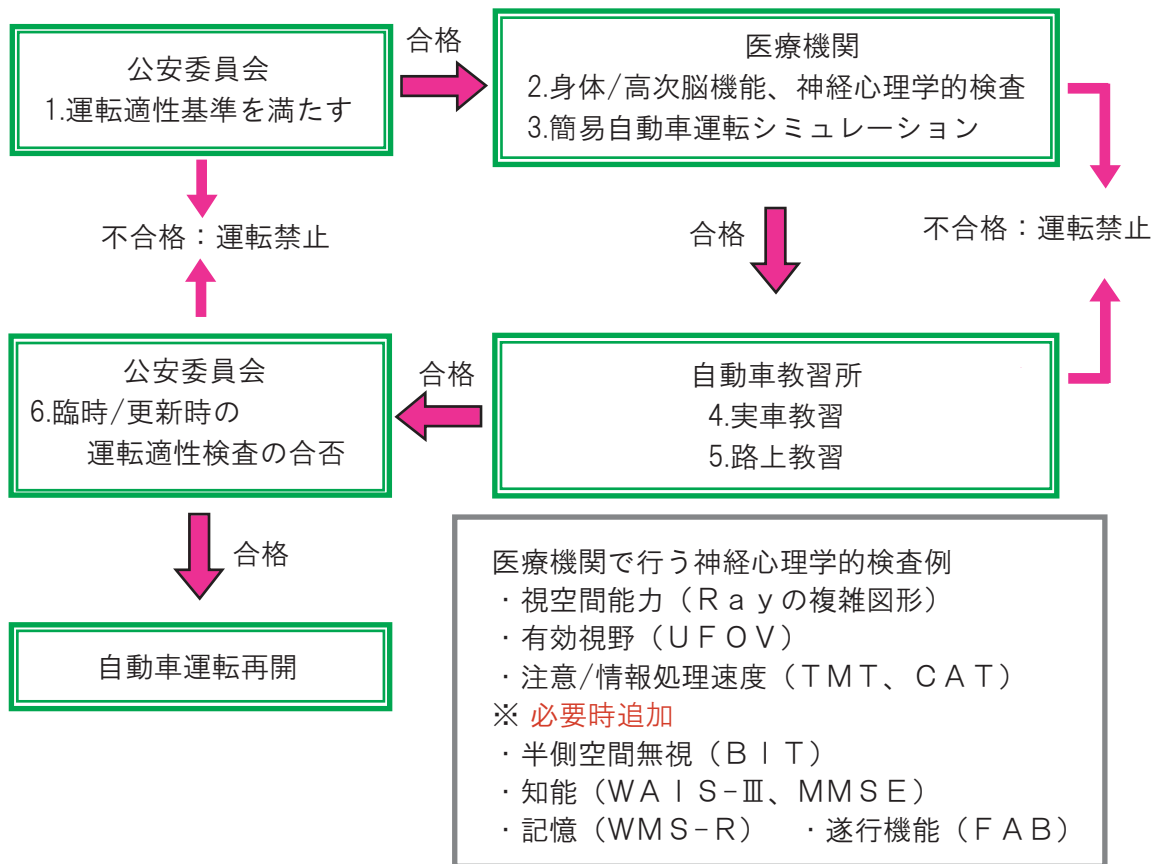
交通事故や疾病により、高次脳機能障害を発生した運転免許保有者が運転を再開するにあたっての、明確な基準や体制が整っていない現状では、医師の指導に従わずに自動車運転を再開して交通事故を起こしてしまうことがあります。

また現在の自動車運転免許証の更新制度では、障害を適切にチェックできず、多くの高次脳機能障害者がすり抜けて運転免許証が更新されています。

そこで、簡易自動車運転シミュレーター（SiDS）の開発・製品化により、自動車運転再開にあたっての医学的基準を作成し、運転再開を適切に進める指針を示すことができるようになりました。

またこれは高次脳機能障害者の自動車運転を排除するものではなく、予知あるいは予防できる交通事故を未然に防ぐことが目的です。

## 自動車運転再開の手順



### 参考文献

- ①高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション1
  - ②高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション2
- 蜂須賀研二（門司メディカルセンター院長、産業医科大学名誉教授）編著  
発行：株式会社金芳堂

製造元：事故なき社会株式会社 福岡県大野城市下大利3-2-20  
 開発者：蜂須賀 研二先生（産業医科大学 名誉教授） 松永 勝也先生（九州大学 名誉教授）  
 販売元：竹井機器工業株式会社 新潟県新潟市秋葉区矢代田619  
 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-7-21(新寺KSビル7F)  
 新潟支店 〒956-0113 新潟県新潟市秋葉区矢代田619  
 東京支店 〒142-0064 東京都品川区旗の台1-6-18  
 名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-26-39(GS栄ビル4F)  
 大阪支店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-7-8(大昭ビル7F)  
 福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-1-33(はかた近代ビル7F)

TEL. 092-581-2232  
 TEL.0250(38)4132  
 TEL.022(291)2765  
 TEL.0250(38)4132  
 TEL.03(3786)4111  
 TEL.052(264)9201  
 TEL.06(6304)6015  
 TEL.092(411)1430